うら、」と答えました。しかし者 生色でいるから、動らけないだ が方は老人本見て、「あまりとし 、今日にいたるまでたちつづけ 八は、「記念をあらわなくてもか ませんか。」と聞いましたが、 つくられておりました。それら 来で執力に、「動らかして下さ ある日、一人の老人が建築の所 御殿堂は日本の寺や神社のよう 大きなすばらしい石の御理堂 うととがわかりました。 す。ひとつの例をあげるならば、 たらいいだろうということなんで えなくてもできるだけ完全にやつ と花やつても、たとえ人の目に見 でしようか。ひとつは、どんなと との形には、どんな瞬間がある一 見える所は 掃除をやる かりでなく 時に、よく 場所のすみ

おるものであります。

のをみつけました。また、しらべ でした。

和方はいつも

若人の

働ら のように足場からおりて含ません ました。本る院に、老人はいつも で幾年も一生懸命に働らき、つけ 者人は毎日信日きてきまった場所 をすつかり向れてしまいました。 でも働らいでもよい。」と言いま つへ連れて行うて、「とこなら何 はの誰もわからないかくれたとこ した。すると親方は老人を、あし さい……。」ともり一度たのみま いません。どうぞ伽らかして下 した。それから親方は老人のこと た。よく見ると若人が死んでいる のは一日で 除じましょ 作れるもの

い影烈寺見ました。紹方は始めて、は性格の強い人間になりたいと思っるのを希望しております。 が日知日少しづつやつたすばらし てみますと、老人が長い年月の間 いているところへ登つていきまし、ように少しつつやつてしまいはす みなさんが大人になつて有名な科 ちがいありません。それでもし、 ばらしい結果があらわれてくるに 学者になりたいと思つたり、また いうことです。毎日毎日、老人の ではないと

中世紀時代には欧洲のいたる所一名人がすぐれた影幻家だつたとい一うならば、学生時代から毎日一生 に、もつと従順に、もつと歌場に るように努力しました。 彫刻をできるだけ完全になしとげ なるように努力して下さい。 際命に勉強して、毎日もつと親切 有名なピアニストのラデレウス 老人は死ぬまで働らきつづけて

きれいに掘 すみまでも がいて向上させたいと考えておる まり、自分の技能をあくまでもみ 前まで練習していたということで のです。 す。そのわけは有名な人が自分の 党成だ上思つていたからです。つ 技能がいかに強歩しても、まだ米 中イは独奏する時に、その一時間

はらしいも一であつても、人が見ても見なくて つの酸脈は一るだけ完全になすように心がけて 何でも、ナ 下さい。たとえそれがかさいこと ないで、なにごとをなずにもでき も、おろそかにせず、完全にやつ て下さい。 みなさんも決して平凡に満足し

ても安心できる。なんでも積極的 に自発的にやりますから……。」 る以際にない……。 仕事をまかせ は……「との人なら決して心配す るにちがいありません。ひとびと 常に解散されるし、よく個脳され そうすると後日人々によって非 みなざんがそのような人間にな

世間からあの学校はよい学校だ に聴い社会となって貰う為めに て語い人に、そうして成人した時 を飲え授ける許りでなく人間とし ていろいろの学科目に関する智識 そこで本校では唯酸科樹によっ なつてこそ、との学校に入学した なりません。

ければ次らない覚悟を新たにしな。中院も決によくなくてはよい学校。ない生程に、又同親や世間の人々。忘れない様に瞬間の気持を持ち続 **女学校を疑して立派に築き上げた。強もよく出来ると云。様に容器も 服中学校の生徒として胎づかしく。に於て物学させて聴いて贈る事を** に、学科目の勉強にも精進して答之に反して大変に限ぐまれた協心 を身につける様に努力すると回時

の周へ事を与れない様に、自分は

よくないと批判します。

現れに反 をよく行つて一日も早く軽い習慣、出来なかつた沢山な気の指な人々 のですから、生征防打は生徒心得 につけばそれが第二の天性となる 「しつけ」して居ります。「しつ け」によって無い習慣が次第に身 から可疑がられ邸められる者人にけましょう。 すが、とのようとびの呼には入学 競争財を導入して来られたのです 何本校の生徒は入学の時相当な 紀耳に残をつけましょう。

布里された単江大変によろとばし 礼儀も正しく規則で世間の人々か 力も三十名程になり、是れで強く、学校で勉強している生徒が上記で

私達はこのよろとびに対して益

しい人柄を持つて居り、其の上勉

ら可疑がられる様に少年にふさわ

ければからだい上思います。

とは申されないでしょう。

となり、三つの学年が描い、先生

論

生征数も三百五十余名 月に新入生を叩えて、 格品中学校もこの門

であるとか、股間が飛つて居ると

と云われるのは学校の建物が立派

かと云うことだけではなく、その

說

年 を

迎えて

Ш

生徒會の新發足に

目的を適したか はずしたか

ヴィアートル学園 中 学 校 格屋中学校新聞部

傷一る(もたせる)ととになりました一しかしただ成功だ、あるいは不成一答えられるように区別しなければ んとくの金貨任を生徒会にまかせ、 きて。今頃はもういかがですか一功だとはいえないと思います。と との頃、本校の静晦と解除のか一つまりが功であるかどうかという 質問が自然にでてくるでしよう。 ナドゥ先

生 いうわけは、生征会の適してゆく

じめに点数をつけておるし、格除 によくできております。役員はま もあります。とのととについて、 ない+Aまで進歩して含たクラス 点数は段々あがつて、たとえば をやつておるに違いありません。 当客はいつしょうけんめいに掃除 との頃教室などの所の掃除が非常 いい十ぎないと思います。実際、 いて成功であるといつても確かに とくについていえば、その面にお ーまという点数からほとんどでき 第二目的、十なわち帰除のかん

力をつくさればならない。 れることをねがいつつ仲び行く学 われの理機が一日もはやく実現さ とのことである。そのようなわれ 部には特益の体質館が建てられる は観に立派な隣営が、運動場の西 限に特別の概は高鳴るのである。 なおやがて、新旧校舎の中間に

近日撃方

予定である

ならないと思います。

生徒会の責任の増大について

で中学校としてもまだ未完成でし ました。これは生死会にとつて大 一校長先生は校舎内の静遠と掃除当 校活動に参加しようとする意絵も、先生のこの御期待に張らに白重、 でしたが、当時は一、二年生かけことであります。校長先生は生徒 帯の監督とに対しての責任と権利 方と生促諸君の勲器を容れまして なかつたのでした。 処が新学年と 図力なさることを引越いたします たし、生種誘君もまだ自発的に学 祭に出られたのですから以子校長 を生徒会に任せ与えることになり 定脳鏡のあることであります。 今度三年のホームルームの先生 共に新しい一年生を迎え、学校も 生

独会は

即年の

五月

発足した

の は生健会の発展と共に観に当然な 他会に貼されたのです。此のこと らについて前述の二つのととを生 校長先生は生従会の本来の目的の るに至りました。此の機に臨んで 立派な一つの中学校として完成す 錯君の母治的実力を信じられ此の 一つである学校をよくすることが

一人一人が協力して

のでなければ本当の自由は得られ

自治がその限界を知るというの

任を持たない人には自由を主張す

る機利はありませんし、他人の自

由を配め、社会の藝務を窺んじる

の聞つたり行つたりしたことに置

知ることからはじまります。自分

せんし、自治は常に、その限界を

て摂附けられていなければなりま

自由は常に責任と誘務とによつ

ていなかつたためだと思います。

治というととの本当の意味が分う

それは旭ヶ丘の生紀遠に自由と目 んな変なことをしたのでしょうか つたとは思えません。どうしてど たととなどは、どう見ても正しか 既に校長先生に辞職させようとし

いに白頭して下さい。 生

る大きな力になるのであります。 協力が結局は学校全体を発展させ 示う回販がありますが一人一人の 石 0 昔から「人のふり

しよう。無責任な批判や不平理器

かなものはかりせん。

力で建設できない事柄なら最初か

ら破壊しないことだ。とも云えま

Щ 先同じような意味で、 沢を促いますが、どち 小 という際があります をよく考えて、口分 の数別とするように らも他人のしたこと 他山の石という言葉

見て我がふり直せし一気れてはなりません。学生や生徒 つあります。とのとき、結判に心 たりするのは問題いであります。 にとつて第一の義務は勉強すると うか、自由をはぎ遊えないように しようとする自治組織が成長しつ は、できるだけ自分池でキチンと とであるのに、ストライキをやつ 又、自分の本来の競務を絶対に そして自分の力の限界を知つて行 からお聞いしたいと思います。ど 今、格屈で賭判が自分達のこと

五月の碧空に高雅な クリーム色の殿堂

数をついやして遊められてきた新してびにいたつた。外間は旧权会と

ある。内部 全く同じで についてい 化学教室の に完成し、 たは、三碗 なく終了の 財師もまも

それから新

は細盟籍、

製室 之生物 学校の登録

らしい医療

室

だ

よ I)

至と物理が

な生徒の類りによって組織された 学校こそ極い学校と云わなければ 「かい」があると思います、新様

から大変によっこんだ事・思いまえはしてはいけません。 なりますから、此の点にも治分に

校段

| 図籍主任 | 生後図

ば四んながよい様に云われる事と

る所でありますから、いつも自分 つても世間ではあの学校の生徒は の行動には適勝資圧が伴うもので かまわないだろう等と云う様な考 で自分一人位はこんな事をしても 対して略れか一人が軽い非をすれ あります、例えば大勢の生徒の中 周辺つた行をした生徒が一人居 次に学校は団体生活を悩んで居 〇図術館係の構成及生徒委員

主

任川岛

先

生

分で本を選択できる開架式を採用

生使図費本品

三年人于原、山田、奥田

うな状態が続きますと不便でもカ 乱になやまされています。このよ していますが、そのため排列の福

んとくであります。すると、今は 館であり、もうひとつは掃除のか 目的はこつであつて、ひとつは静 いかに進んでいるかという質問に

とが、壁と初りとがこめられてい まなぶものは、朝夕照耐とともに あろう。なぜならば、この建物に との壮観な殿堂をうち仰ぐべきで るからである。このような等い環 は数え合れぬらくの人々の汗と力 長にしめて毎日の粉学に運動に全 機に象なぶわれわれはその原福を らないとおもいます。 税価もみなさんもほめなければな

が組や場所や時間によつて騒ぐと にむずかしい。という理由は非常 いていいましよう。今の静雨の状 次に第一の目的すなわち静樹につ に静かな場所や時間があれば、ま 態をみで判断しますと、前よりも 良いか悪るいかというのはたしか とれは褶除のことなんですが、

三層図書館から二階解党の半分一ち大いに図樹を利用される事を開 今年度から図雲運営機構を左記 未完成であり、又生徒会でも目立 年揃い、と同じに生徒会の任務も りますが、今年度はいよいよ三学 つた事は行なわれなかつたのであ 目を迎え昨年度は中学校としても、 増大したのであります。

此んだ隣接

第とである

日校会と

光図鬱縮として使用し、三学年揃しんで居ります。

合の出現は

はありますが、第二学期始めより った学校には狭ますざる図標室で

まてとに沿

新校会一階に図幣室ができる予定いと思います。

で居りますので、それまで狭い乍

〇図時前運動機構

國際形式學因

一脚人、受入係 宣伝

一活をおしすすめる事が最も肝災で 一類団生活のいろいろな様式に習熟 関係が訓育部から生徒会に話した と純務を十分に理解し協力的な生 する事でありまして、生徒の細利 幕は学校としても父生徒会として も抵だ意義のある事であります。 く自主的、民主的な行動のもとに 生徒会の目的は、いうまでもな その第一歩として静粛と当番の

□ 年A 市川、小林、宮土栄、別れません。図書館はみんなの利ル・C 大川 辻、高島 方式に変えなければならないかも。 古式に変えなければならないかも、 カードによる検察と係員による出納 用するものです。而例でも定めら れた諸規則をむつて下さい(川島) 生が下級生に静雨を守る事を類切 まだ数日しかたちませんが、両沿 が行なわれる様になりましてから あります。 生徒会で特合調器や当器の監督

私選の学校では構築から自由に自

配

N B 高脚、大阪、木多

かみなさん、次の質問に自分で容 えて下さい。 かという問題がでてきます。どう 例外なしに生促会員も生促といつ でもまじめに協力しているかどう一うかという順脳をとわず、含つと こがあります。するとみならんが の努力をみとめなければならない とこに呼順間の熱心さやみなさん らないと思います。 しかし、うまく行つているかど

う、つまり旭ケ丘中学の事件から せ、前者を後者の他山の石にしよ 内とのこつの大きた問題を考え合 来事がありました。私はこの外と

の自治組織の発足という大きな出

洛屋の自治組織のための数割を見

一つけ出そうと思うのです。

は正しかつたでしょうか。私は段

しい事物が分りませんのではつき

先ず旭ケ丘の生征会のやつたこと

りしたことは個大ませんが歌らく

しよう。きつと正しい行動もあつ 全部間違つていたとは割えないで

たと思います。しかし赤旗を扱つ

たり、岡県休校をしようとしたり

すか?あるいは、前階の今の状 学校はいつでもどこでも静かで いは、気をつけなければならな 観で充分だといえますか?ある い場所や時間がまだありません 五十六人のはつきりしたプロツク つしよりけんめいにやつて、三百 いかといり問題ではなくて、ただ としてがんばりましょう。 本校においては決して良いか悪 どうか、みなさん、ますますい

静傲の頭において、本当に成功で一毎月ますま十完全にしましょうと あらかどうかといり前に、もう少 しみなさんの様子を見なければな いう問題しかありません……。

先 生

先

生徒会が靖足しましてから二年。に方法や、礼館作法を数えている も原受けられる時もありますが大 様子を見ます時、何んとなく学校 じがします。時には不心得な生死 内から盛り上る力が見える様な感 「ローマー目にして成らず」と

の二つの面があります。そして破

人間のする代事には破壊と確設

壊は容易ですが建設は困難です。

「眼界を知る」というのは自分の

から弱わないととです。 任をとれないようなことは、初め 自分で言つておきながら、後で遊 はどういうことかといいますと、

に指導している極度や交当番の際「下度此の時、私選の学校にも生姫」励するようにと 件は刑ケ丘中学の問題でしよう。 ということです。 ところで近似般育上の最大の事

所

本校講堂

ばかりでなく、致々の急遽である みることは、ただ有意義だという もたつたが、との大なる任務の国

No. ととろが本板に於いて、今回我々 いうものが認められてはいない。 中学校あさす)に於いては自治と に静宙と揺除の監督という形から 川自治川というものを与えられと と共に、名誉であり、大いに喜ぶ いうことは、重荷や背負わざれた 元来、カトリックの学校(特に

なことであらりか。そのまま説め

へきととであり、又新たなら自覚

五月二十四日(月)午前11時

は、ヨハン・セバスチアン・バツ ハとならんで、十八世紀前半の音 ヘンデル (一六八五一一七五九) ヴアイオリン=山 第二条章 第三派章 ラルゲット 二、協奏曲第一番 第四楽章 アレグロ ト短調 作品二六 アレグロ …ブルツフ

、ソナタ第四番(ニ

曲目と解説

長調) …ヘンデル

楽界に支配的な地位を占めるドイーブルツフ(一八三八ー一九二〇) にはヴアイオリン協奏曲が三つあ アダデオ

タ・アレグロ形式、頭やかな機節 五八の三番はあまり面残されず、 りますが、作品四四の一番と作品 物を繰り拡げた後、再現部は開路 す。それから此両主願の幕開が秘 なやさしい調べを炎でて現われま 的の楽堂で曲を起し、男性的な絵 **愛婆される代表作となつています** 二八才の作である此の一番が瑕も 室で抒情的な配律の美しさが其特 一訳されるもので、終止休みなく同 が経過的に第二帝並へと導きます 術を同して行われ網類な音の絵巻 これと対照的の第二主題が女性的 一主脳が放明な歌を歌つた後に、 第一楽室、前奏曲、自由なソナ 第二事章は歌謡風の緩やかな楽 三、小品

ツ生れの大作曲家である。しかし ロンドンに死し、ウエストミンス モーツアルトやベートーヴェンの「されて管絃総際(ピアノ代行)部

段階には程遠く、楽型の形式もた 作品のような二国際ソナタの発達 夕風の住格を残していて、鍵盤楽 はまだ多分にイタリアの数会ソナ 能にみちた傑作を多く残した。 でしかもおおらかな、ルネツサン 解烈な個性のうちに 消化し、 簡潔 との時代のヴァイオリンソナダ

ス・パロツク的透明さと現世的官 のイギリスの精神が刻みとまれて 器はどちらかというと伴奏風で、 おり、あらゆる流派の影響をその 物語るように、彼の作品には当時 ター寺院に葬られた歴史的事実が

綴急の順に配列されている。

Consideration of the standing of the standing

から其感じば明るいのですが、そしである。

要性についてもう一度よく考えて、活にル自治ルル自治ルと叫ばれる

の中にブルツフの人柄が自然に必 アメリカ思人の原始的な、宗教的

み出て一種何とも云われない思想 部で此两主国が少し越を変えて再 い緊張を持ち続け、型の通り再現 た巧妙に展開されて息もつかせた ロ形式の音楽で生気に充ち満ち、 に突進して終銘頭く曲を結びます つた後、プレストの急速度で一気 個性を発揮しながら提示され、ま われる第二主題がはつきりとその 技巧的にも華やかで力強い中にも び姿を現わし力強い盛り上げを作 組城たる

趣きを

宿しております。 終曲は精力的なソナタ・アレグ 度の順音で進む力強い豪州な領 主題と、単音で雄大に朗々と歌 重奏曲」と云われる作品九十六番 せて作曲されたドヴオルシャツク 左
繋
朴
な
歌
曲
で
あ
る
思
人
霊
歌
に
似 の旋律である作曲者はボヘミア人 蒐集し研究して、この特性を利用 であるがアメリカの無人の音楽を れの第二派章ラールゴの故に特に 有名である。「新世界より」はそ 交響曲器は、それ郷の中でも特に 「世新界より」と命名された第五 一般的に爆好されている。そのラ した音楽を書いた。「アメリカ四 ンの巨匠クライスラーがヴァイオ ングリツシュホルンで吹奏される 書かれている。原曲に於て之はイ ールゴの主要能律は県人器歌風に 今日の演奏はとれをヴァイオリ

鉱奏由ーアレグロ・モデラート リン独梁曲に編曲したものである (三) ホーム・スイート・

卿よ来る二十五日から四日間、

ろざ、箱根に遊んで暮れて、

修

ズノフ(二八六五一一九三六)が ロシアの作曲家として有名なグラ 終曲ーアレグロ・エネルジコ (イ) 氣線曲、作品三二…… グラズノフ 続いてその主風を分散和音的に変 いカデンツの後に主国が奏され ホームスイートホームの旋律を、 版味を帯びた導入部があり、短か ファーマーと云ら人がヴァオイリ ン用に細曲したもので、最初に壮 これは、一般に段く知られている ---ビショップ

でしよう。

生の皆様は脳分薬しみにしている い顔館なコースとあるので、三年

|長となつています。変ホ長鶴です | じリズムできざみ、一種の線褶曲 | みに主題を浮かばせた変奏の後 とれば、無窮動とか不休運動とか
| て現われ、そして終曲として、A | 鷹の観光地、糠嫩塩・白糸竜、粡 ります。 〇二十九日午後十時頃) な、冥想的な疑しい作品である。 皆いたヴァイオリン曲。対位弦的 (ロ)常動曲………ボーム | に初めの主網が闘子を短闘に変じ | 朝を向え、バスにゆられて常士山 の汽車で、もと来た道を京都に戻 と口の音で細かくきざみながら巧 売した鍋一変奏曲が奏され、即 | 資を売り、富士駅で第二日目の 終結部に入り出を終ぐ。 をたち、一路東へ東へと夜の東海 神納・阪穴吹穴をめぐつて、その 夜は河口湖畔の宿で旅路の夢を結

任を生徒会へ一任されて大分日数 自分の身を治める。ことである。 するという意味を含んでいること も 何も学校生活に於いての権利 今度、静岡と掃除の監督の全員。 はヶ白ら沿める 4、すなわち自ら 否における自己という地位を自覚 がなかったからである。といつて くることは否定出来ぬ事実である。であるから、これ それならばなぜ社会生活、共同生を知らなくてはなるまい。 らないことは、共同生活において つて今までの我々の学校生活はど なく校長にあるのである。ただと のであろうか。ここで忘れてはなっ」という言葉があるが、悪くい 普から「長いものには

巻かれ

ったという意味ではない。

学校に おける全権利、権力はいうまでもではなく、自分自身が突進んでい 権力というものが全部生徒会に移

々の生活は誰からされるというの

くのである。すなわち自分の行為

というものは、あくまで自分の意

る自治師条であろう。

最も大切次のは社会の秩序を保つ の言葉で表現できたのではなかろ とで述べようとするのは「長いも 自治 加 から生れ

生徒会会長 三年じ組 島 章

では「自治」とは一体どのよう、自身を守り、治めるだけでなくて ていく為にはどうしてもヶ自治の一校側がある事項に対して一つの方の力、すなわちもりあがつてくる。考えのもとに日々を送れば、ほと であるからとの社会の秩序を保つ
うと語弊があるかも知れぬが、学下への力ではなくて、下から上へ くてはどうしても出来ぬと思う。 精神』というものが土台にならな ていくことだということである。うか。学校側、生徒側とわけていのには巻かれろ」すなわち上から そとから全体の中の自分、共同生 る反孫は生徒側にあつたとしても とを認むのである。一年の時はと う。しかし思人でも日に七回もあ 勿論、生徒会が無能だつたわけで そのまま泣き腕入りの状態だった。もかくも、三年ともなれば自分等 針を含めたとすれば、それに対す力というものが生徒間におとるこ はないが、ただそれほど大きな力 たうとする気持が離れにもわいて

あやまちと認めて、その報を受け の生活は誰にも頼らずにやつてい 認めるわけにはゆかぬ。こういう なき行為は、今の政界ではないが あやまちが生じれば、いさぎよく やまちをおかすというから、もし んど迂禍な行為は生まれぬである

新

らたくさんです。

性を残うこと。とれば私自身

5、音楽学校声楽科本業

3、健康で人格者たること 2、学生時代は、社長さん

2.なし。

やかな光が漂つていた。

4、スポーツ、徳劇、既啓

3、 自然に聞いかける人間の心

情、問いかけずにはいられな

い人間の魂、私はじつとその

(ハ)ラールゴ(新世界及響

---ドヴオルシャツク

小川先生

3、教育方針

2、ニックネーム

第一印象

空機)写真 じであつた。

管野先生

5、經歷

体的にはもう少し研究を要す 育したいと思つていたが、具

2、中学校時代C戦(第零号戦 1、割合にポツチャンが多く、 3、自御出来る人間となる機数 門脇先生

2、中学時代通称「タクサン」 1、緊張した外田気

鈴木先生

5、立命館大学文学部国文学科

4。野や山を歩くこと、歌うと

5、京都学芸大学與学獎術识研

1、マリヤの像、そこにはかぞ

究堅在。

3、精神的生酒の外に科学的に 4、無線、栗り物(自転車、航 1、生症が思ったより明るい縁 合理的に考えるということ。

5、同志社大学工学部

ファイトがない。

5、京大理学部物理散第卒樂 3、透徹した信念と母かな人間

然しそんなニツクネー

旅 はも 丸山先生 川島先生 2、機雷の中に貧困(鮭、アマ 5、京都大学文学郎卒 4、残念乍ら自分で趣味といえ 1、一人一人に影ち聯ぎと安定 **5.** 京大卒梁 4、 囲途をとらざる画家。 奏せ 3、自発性、創造性への信仰 1、 静にして動。 るものを持ちません。 についての努力と一致します リアルノデ ざる楽士 感がある。

三年生は富士伊豆方面への修学旅四日目。愈よこの旅行のグライ | 行に出かけます。何分中間試験も マツクス、併取温泉とつばきと火 山の島大島の観光、維大本三原山

洛星中学校に 入學して

黒湖おどる太平洋は我々の目をな

終つた上、中学生には到底認めな

このように考えれば、私選の日 れても自分のあやまちはすぐ配め 一びます。第三日目河口洞でくつーよい天気でありますように(K) 先す第一日目は夜十一時景都 う。第五日目は、修磐寺温泉と ぐさめてくれることでしょう。そ 四部への遊覧船で、これでこの旅 行での予定の金部は終り、十時間 て、不平をいわずに、躍いてほし 日に迫りました。どうか四日間が ぞろ故郷が設ばれる人もでるだろ との楽しく又嚴確な派行も後一 の建物の中に一体何がひめられて れは横道の洛星中学校である。と かにそびえる新しい白い建物。そ の学校はいつも際理整朝されてい と思う。その規則が守られてと 当然行わなければならない酸溺だ 守るという事は、たた人間として 則が守られているからだ。規則を りかえつている。それは学校の規 いつもとの学校はひつそりと野ま いるのだろうかと思われるほど、 各四の一脚、衣笠田を智様に暗 一年人組 葛西英嗣

を治めるには、どうしても注意し いと思う。生徒自体で生徒の生活 ことは我々を信頼して下さつた為 成めあうととは、かかすべからざ 最初にもいつたように、今度の を持つて何事も行なわれると置ふ な特長は、カトリックの壁の精神 ない今の時代に人を疑して生活し 事である。京に自分の事しか考え そしてもら一つこの学校の大き

に与えられたものであるから、そ

られた任務が将来の洛鼠中学校表 かなければならない。我々に与え の信頼を表切らぬようにやつてゆ

いうものが附まさつている。遺任 だから自分の行為には当然責任と 誰れがやつたというものではない 志に基ずいて行つたものであり、

左右する程、大なるととを自覚し みを続けるならば、きつと殺々の 自治精神に基ずいて一歩一歩と歩 かたのとつたニ、三日、 苦しい中本通りぬけ、 だけどばくらのためになる学校 1年B組 間片勝茂 いやになった二、三日、

頭上に舞やかしくものが、限り時

えることを信ずるものである。

いつまでも

にはないでしょうか。

持つて勉強できる機選は大へん壁 いかんきようにめぐまれて希望を のごろ考えさせられる。こんなよ て行くという事は、世界を美しく けど憂きよりがある。田舎の人は 会人となるように一生けんめい効 中に立つている洛星中学校で、ど つてかがやく壁のように立派准社 して行く大へんよい事だと僕はと んなに小さくともいつも希望を持 福だと思う。青々とした野鼠その

強するのだ。

みじだつて響になると、少し位枝 に緑色をボタボタと置いていった 桐も容がくれば、風景の囲紙の上 容になれば質緑の岩々しい薬もつ つもいかめしくつつ立つてるが、 をはらつても少しも哲にならない つける。冬には葉一枚なか、た青 程沢山の葉をつける。松だつてい 春になると、凡ての木が若葉を 三年日組 寺田明猷

て大へん気持がいい。 ばくはがんばる、 ためになる学校 manne ける。家の裏の木なんか、僕が丸 今見てみればちやんと緑色をつけ、になろうと努力すれば、とせてせ 坊主になる程枝をはらつたつて、 てやがる。お父方やんのつりのおした行為もなくなるだろうし物事 ままだろう。大だつてその動作を一る心を抑えるのも方法だ。魚つり り返し、淵だつて瀬だつてもとの の天気はかわりめが早くつて、空一に与えられた健命を少しでもはた だつて飛んでるだろうし、山の谷にしつかりと両足をおいて、自分 供をして歩いた。田のあぜだつて一にもつと真けんになれるだろう。 をながめてると面白いだろう。川一 **緑色の草がたくさんはえてるだろ** 一自然は大きいものた。又人の配命 十分間じつとみているとなかなか 變きようがある、牛だつてこわい

の事ならなんでもしつてる。僕は は知らないが中流の人の生活は面 白そりだ。田舎の子供は、まわり 磐理固くて規切だ、貧乏な家の人

めくるととろまでめくつて、ひ 国語の本を、べらべらとめくつ 窓から、風がはいつてきた。 1年C組 伊ケ崎安孝 にくらしい風だ。 きか允した。

よくよしている必要はない、もつ しかつた事を覚えている。何も肌 あまり田舎の事は知らないが、後 病やみじやあるまいし、小心でく 営を取つたときいてちょつとくや の知つている家の子が大きなうな くれよ。 もういつべん、もとになおして

と大きな信念で助く事の出来る人 そうと努力しなければならないの というのも大きい。人は自然の上 ません。 歴史が築かれるととを祈つてき

の水だって去年と同じらねりをくしてはなかろうか。自然をながめて、最後に顧字を聞いた、神谷 か闘芸の練習でもしたらよいので うする事によってなまけようとす 既先生、それから御多忙中を 御路稿を給わつた情報に厚く その図案をおひきらけ下さつ

編集室より

星新聞もとこに第八号を主刊する く心ゆたかであると申します。浴 五月に生まれた

こどもはみめよ

きくなつたと同じように、この新 ととになりました。 今春、新入生を迎えて学校が大

3、勉強に興味をもつて、自分

加地先生

1、上級生がよく下級生をいた

から進んで研究する態度を報

4、音楽(バイオリンは自称か

2、せいぜいよいのでたのむ。

わつてくれること。

3、「美くしいもの」をすなお

にみつめる人間であつてほし

イフエッツ。但し他人はのこ きりの目立屋といつている)

2、今の所不明。

1. 校舎が築しく、生徒はしず

4、なし。

心をみつめ行ててゆきたい。

5、豆都大学理学部。

かだ。それだけにきゆうくつ

一なさんとともによろこびたい上版 開もまた本号からは紙面も広くな り、印刷も活字になったことをみ

含土地に芽生えたどの新聞が、み くすくと若木のいのちもすこやか なさんの努力によって、今や、す に、根をはり枝をのばし葉をづけ てきたのです。 本号はまた、新人主諸君へのさ 千年の古都の一角、松風すがし

です。そのいみから網一面の機和 さやかなプレゼンドででもあるの いただきました。どうぞこころし にナドウ神父音楽からのお音楽を て読んでください。

それから生涯会の発足とその発

先生方の日根とそのせて、光栄を ここには特に生徒会投資の所願し にとつて紹介す様差にとでした。 らしい任務とは何といっても本地 る生配会の創途を祝福したいと このような計画にもかかわら

級一班努力するところに進歩が 人間です。それが完全へ向つて す。しかし未完成は完成への運 この新聞はこらんのとおり未熟 です。われわれはすべて不完全

希望とあこがれに生きたいもの う。しかしそれでよいのです。 の努力とそが回にもまして野い るのです。発展があるのです。 れわれはやたらにおとなのまわ 点において切く、淡く繋朴でし です。恐らくこの新聞もすべて と思います。そしてやかでは 木のように、うつましく若々! も初夏の大空に向ってのびる する必要はありません。それと 浴星新聞の中から、突くしく中